

【市長との地域懇談会 記録】

開催日 平成 29 年 2 月 17 日（金）

地区 浜郷小学校区

会場 浜郷地区コミュニティセンター

参加者数 12 人



《質問・意見》

山田・二見線について、以前から私は反対している。道路を拡張、インターを作るとの計画があるようだが、意味があるのか。三重県知事にも反対の意見書を出してある。市議会議員にも相談したことはあるが、その計画はまだあるのか。

《回答》【市長】

計画を 1 回作るとその計画は残ることがある。例えば、伊勢市の高架を作る計画もそうである。しかし実際は陸上競技場の拡張工事も 5 年間以上要望し続けて動いてきたものである。県の財政状況も厳しく、現実的には、今はほぼ動きがないと思っている。

《質問・意見》

市民病院の建築、学校の統廃合とやってもらっているが財政は大丈夫なのか心配である。一色町で一番怖いのは階段堤防である。防災タワーも作ってもらい、自治会の取り組みについてもありがたいと思っている。水門を閉めることで、一色、神社地区への影響が心配である。堤防は伊勢湾台風時代に作ったものであり、ヒビもあり心配である。

《回答》【市長】

財政のことについては楽な状況ではない。平成 17 年の合併のときに地方財政を効率的に運用していくのが課題であった。財政の問題もあり、職員や議員も 3 分の 1 に減らし、人件費を 30% から 16% に減らした。貯金が 40 億あったが、人件費を削るなどの工夫により、増やしてきた。しかし、大きな課題として、合併後、市長が替わっており、行う必要があったことが、出来ていなかったものがある。現在取り組んでいる病院や学校のことがそうである。市民税だけで補うのではなく、出来るだけ県や国の方から融通してもらえるようにしている。

これから 5 年間位は厳しい状況が続く。昭和 40 年から 45 年位に学校や道路が多く出来、それが丁度今更新していく時期にあたる。公共施設の再編や複合化などを行いながら、年間 50 億円かかる維持管理費を、圧縮する必要がある、今後相談しながらすすめていきたい。

勢田川の水門に関しては、4・5年前にこの場で同じ質問があり、国交省に確認して、その当時の地区の代表の方に立ち会ってもらい説明させてもらった。水門を降ろして津波が来たときの跳ね返り等、シュミレーションし確認している。再度、説明が必要であれば、地区の方に集まっていただき同じように行いたい。

堤防に関しては、時間がかかるが、同じ立場で国・県に要望していきたい。

《意見》

堤防に関しては、国交省・県から必ず補修工事をすると文章化して、いただいている。大湊町が済んだらと明記されている。

《質問・意見》

指定管理者制度について教えてほしい。焼香場（斎場）の指定管理業者が4月から鈴鹿市の業者に決まったとのことであったが、伊勢市の方の雇用ではなく、鈴鹿市の方が雇用されることになり、税金も伊勢市に入ることになる。

《回答》【市長】

指定管理制度の一つの問題点であると考えている。難しいところがあって、今回、障害者のお世話をする施設の指定管理者制度により、同じ市内のところであったが別の所へ変わった。そのことにより、今までの事業者をどうするのか問題になった。まだ、指定管理事業の問題について完璧な答えは用意できないのでこれからの課題とさせていただきたい。

《質問・意見》

防潮扉の問題であるが、台風だと時間に余裕があるので閉める人がいる。しかし、地震が起こり津波が来たときには命の危険もあり防潮扉を閉める人がいない。市としてどのように考えているのか。以前、市役所から夜中の2時に締めるように連絡があった。漁業組合のところだけが開いているので、閉めたが、長いため、大変であった。

《質問・意見》

水門は高潮対策のものであり、津波対応ではない。排水機場の役割なので、閉めてしまうことは出来ないのでは。新聞で閉めるような記事を見たが、それは困る。

《回答》【市長】

危機管理課から後日回答します。

《質問・意見》

勢田町から竹鼻町に抜ける川に生活排水によりヘドロが溜まって、水があふれている。少しの雨で水があふれる。ヘドロを取ってもらうと多少改善するのでは。

下水道工事が入ると今後はきれいになるかもわからない。長年の課題であり、予算のことともあると思うが取ってもらいたい。

《回答》【市長】

状況は把握している。要望として聞かせていただく。

《質問・意見》

浜郷はまちづくり協議会や自治会活動が活発であり、意見をまとめて市にお願いすることが多い。対応してもらって、ここ何年間か良くなったと感じる。まちづくり協議会ができて新しい課題も見え、横の繋がりができた。

ただ自治会活動とまちづくり協議会と両方活動している人がおり負担となっていることもある。自治会活動が大切であるが、住民が減ってくくるなかで、加入率も減っている状況である。

自治体活動が活発になるとまちづくり活動も活発になる。各自治会の活性化、末端まで浸透する活動をどうすればよいか。予算をつけることも含め、活動の底上げしていくような取り組みを大切にしてほしい。地域で何かあったときに助け合うことが大切。

《回答》【市長】

一番根幹になることであり、ご意見ありがとうございます。

《質問・意見》

通学路に危険な建物がある。住宅課に相談に行き、住宅課と維持課でガードを作る対応をしてくれた事例である。

所有者と会い、話をしたが、解体工事に費用がかかるとのことで、建物はそのままになっている。

ふるさと納税について何年か話題になっている。赤字になっているところもあると話を聞いたことがある。取組を聞きたい。

《回答》【市長】

ふるさと納税してもらう方は増えてきているが、市内から市外に寄附されるほうが多い状況である。ふるさと納税については総務省も議論しているところである。

3月末までに空き家対策の計画作り、協議会も設置することをすすめているところである。不動産関係の方も入り、具体的検討をすすめていく。他県の情報も参考にし、協議していきたい。今回の事例については、建築課にも確認する。今後も情報提供をお願いしたい。

《質問・意見》

スポーツ施設の指定管理について、伊勢市は遅れているかと思うが、平成30年を目途に行うと聞いている。野球場、サッカー場など、今後、入札としての問題は難しいが利用しやすい方法を検討してほしい。

《回答》【市長】

いろいろなやり方を研究したい。

《意見》

企業誘致を地道にすすめ、若い人が働く場所をつくってほしい。

健幸ポイントや健康課の取組は良い。伊勢市健康づくり指針に基づく取組や伊勢市の健康体操についても進めてほしい。

《質問・意見》

下水道について、浜郷地区の下水道計画を教えてください。

《回答》【市長】

県の工事自体が遅れており、市が今できるところから進めている。黒瀬町は、31年度を目途に接続する予定なので、あと2年待ってほしい。